

就労継続支援A型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	W・A・T・S フィールド
住 所	京都府京丹後市久美浜町湊宮10467番地29
電話番号	0772-83-3939

事業所番号	2613300496
管理者名	仲原裕司
対象年度	令和 7 年度

(I) 労働時間		65 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(IV) 支援力向上 (※)		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表 1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加 1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度 人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置 ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)		5
(*) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(II) 生産活動		-10 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う資金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う資金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満	○	
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

(III) 多様な働き方 (※)		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度 就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度 就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件 就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件 就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件 就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項 就業規則等で定めている	○	
小計 (注1)		6
(*) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	105	点 / 200点
----	------------	----------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～IV、VI）




(I) 労働時間					
前年度（7年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	8,656.5	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,566	人
			利用者の1日の平均労働時間数	5.53	時間
(II) 生産活動					
会計期間（4月～3月）					
前々々年度（年度）					
生産活動収入から経費を除いた額		円	利用者に支払った賃金総額		円
前々年度（6年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	-6,296,601	円	利用者に支払った賃金総額	979,460	円
前年度（7年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	-19,921,405	円	利用者に支払った賃金総額	10,122,179	円
			収支	▲ 30,043,584	円
(III) 多様な働き方					
前年度（7年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	②利用者を職員として登用する制度	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input type="checkbox"/>			
④フレックスタイム制に係る労働条件	⑤短時間勤務に係る労働条件	⑥時差出勤制度に係る労働条件			
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>	◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	⑧傷病休暇等の取得に関する事項				
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input checked="" type="checkbox"/>				
(IV) 支援力向上					
前年度（7年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	②研修、学会等又は学会誌等において発表	③視察・実習の実施又は受け入れ			
◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/>	◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input checked="" type="checkbox"/>	◎先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/>			
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 <input checked="" type="checkbox"/>	*研修、学会等名 久美浜地域包括医療ケア学会 実施日 5月17日	*先進的事業者名 視察：資生園（滋賀県） 実施日/参加者数 月 日 人			
*研修名 虐待防止・身体拘束適正化委員会研修 研修講師 糸井良太 実施日・受講者数 令和7年10月17日 4人	*学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ W・A・T・Sフィールドの目的	*他の事業所名 久美浜町民生児童委員 実施日/参加者数 10月22日 32人			
④販路拡大の商談会等への参加	⑤職員の人事評価制度	⑥ピアサポーターの配置			
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 <input checked="" type="checkbox"/>	◎職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/>	◎ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/>			
*商談会等名 販売促進会議 主催者名 旬の駅前都店様 日時 11月5日 内容 今後の販売数や内容に関する会議	◎当該人事評価制度を周知している <input checked="" type="checkbox"/>	◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している <input type="checkbox"/>			
	人事評価制度の制定日 令和6年11月20日 人事評価制度の対象職員数 2名 うち昇給・昇格を行った者 2名 当該人事評価制度の周知方法	*配置期間 月 日～月 日 就業時間 職務内容			
⑦第三者評価	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等				
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/>	◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/>				
*評価を受けた日 月 日 第三者評価機関	*認証を受けた日 月 日 規格等の内容				
(VI) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 <input type="checkbox"/>					
*受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	W・A・T・S フィールド	事業所番号	2613300496
住 所	京都府京丹後市久美浜町湊宮10467番地29	管理者名	仲原 裕司
電話番号	0772-83-3939	対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 岡野園芸様、シーズファーム様、自事業所の畑</p> <p>実施日程 通年</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要 地元農家の方へ廃菌床をお譲りし活用いただく</p> <p>利用者数 等 7名</p>	<p><活動の様子></p>  <p>岡野園芸 岡野様</p> <p>就労利用者</p>  <p>シーズファーム(株)</p> <p>就労利用者</p>  <p>廃菌床の仮置き場 (岡野園芸様)</p>
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい 農家の方へ廃菌床を無償提供し経営効率化へ貢献し、農家からは栽培指導をいただく。 WinWin関係の構築を目指す。</p> <p>対象者にとってのメリット 廃菌床を有機肥料として活用する事で、土壌改良剤等の購入費用が節減できる。</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果 事業所として地域の農家さんから認知され、今後の農福連携の関係作りを始める事が出来た。</p> <p>得られた成果 地域から感謝され利用者の就労意欲が高まった。 廃菌床処分費用の節減につながった。</p> <p>課題点 更に多くの地元農家へとWinWin関係を構築し、A型利用者の一般就労への受け皿を拡大したい。</p>	


連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで使用していた土壌改良剤よりも廃菌床を使用する方が土壌の保水性が良く発根が良いので今後も使用させてほしい。 大規模な農家にとっては廃菌床を大量にいただける事は感謝しかありません。 <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も廃菌床をお譲りする事で地元地域の農家さんに貢献していきたい。 より多くの農家さんへ廃菌床をお譲りする事で関係作りを行い、協働出来る内容を模索していきたい。 農福連携の受け皿になっていただけるよう関係作りを続けていきたい。 			
連携先企業名	岡野園芸 シーズファーム株式会社	担当者名	岡野 様 鶴 様

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	W・A・T・S フィールド	事業所番号	2613300496
住 所	京都府京丹後市久美浜町湊宮10467番地29	管理者名	仲原 裕司
電話番号	0772-83-3939	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 事業所内 実施日程 2026年2月24日 実施の概要 コミュニケーションスキルについて 参加利用者数 7名</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>一般就労を目指していく為に必要なコミュニケーションスキルについて学び、グループワークを行う事でコミュニケーションの大切さを学ぶ。挨拶、身だしなみ、時間を守る事の重要性についても学ぶ。</p>	
<p><成果></p> <p>7名7様の考え方があるが、それぞれに考える機会となり、挨拶だけを切り取っても、自分自身が気持ち良く仕事ができるだけでなく相手も同じような気持ちで仕事に取り組む事が出来る事に気付いた。「職場の協調性」の意識付けになった。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりが真剣な表情で話を聞き、職場の同僚として互いに良好な関係を求めあっている事を共有できた。 一般就労を目指されている以上、コミュニケーションスキルについては必要不可欠な能力であり、今後も定期的にこのような活動を行いたいと考えている。 	
連携先企業（担当者）	植田 久雄

利用者からの意見・評価

<ul style="list-style-type: none"> これまででは何気なく行ってきた挨拶だけど、相手を意識して挨拶をするように心掛けようと思った。 なかなか勉強会に参加する事が無いので良い経験になった。 仕事をする上で“報・連・相”が必要である事を再認識できた。
--